

これまでの主な交流活動実績

- 1998年度 福井県日独友好親善協会設立 (2月13日)
- 1999年度 訪独 (52名参加) / 友好協定調印式・ヴィンゼン市民との交流会出席 (10月29日)
- 2004年度 5周年記念訪独 (23名参加)
- 2009年度 10周年記念訪独 (19名参加)
- 2014年度 15周年記念訪独 (6名参加)

歴代会長 (敬称略): 堀川馨(1999-2004) / 酒生輝子(2005-2014) / 村田幸子(2015-現在)

<事務局からのお知らせ>

最新情報! ルター・ポスター展「#HereIstand (我ここに立つ) (仮) を福井で開催します。

これは、本年がルターによる宗教改革500周年を迎えることを機に、ドイツ総領事館が中心となって進めるアートプロジェクトで、マルティン・ルターによる宗教改革とその成果を、見ごたえのある30枚のポスターで表現したものとなっています。ドイツ外務省支援の下、ドイツ、アメリカの博物館でも人気を博し、日本全国でも開催されることになりました。今年、福井でも、当協会が主体となり、その展示会を行います。開催場所は、福井県立図書館エントランスホール、福井県国際交流会館ロビーなどを予定しています。世界史やアートにご興味のある方には、必見です。

開催日程が決まりましたら、改めてご案内しますので、ぜひ、ご観覧にいらしてください。

公式ロゴ:「ルターの10年」と「2017宗教改革500年記念」

1528年にルーカス・クラナハ(父)によって描かれた、恐らく最も有名なルターの肖像画を元にしています。



1. 福井県日独友好親善協会では新規会員を募集しています。

県民とドイツ国民との交流は、当協会とヴィンゼン(ルーエ)独日協会が窓口となり友好関係を進めています。ドイツに関心のある方はお気軽にお問い合わせください。私たちと一緒に活動しませんか? 入会金なし
写真: ヴィンゼン市庁舎前の街灯には福井までの距離8940kmと向きが示されている。写真: 2015年3月7日(15周年記念訪独時に撮影)
年会費: 2千円(個人会員)、千円(学生会員)、1万円(法人会員)



2. 新年度の年会費の振込みを6月30日までにお願いします。

[年会費] 2千円(個人会員)、千円(学生会員)、1万円(法人会員)

[振込先] 福井銀行県庁支店 [口座] 普通1038970 [名前] 福井県日独友好親善協会

3. ホームページ開設しました。

もちろんアドレスは、winsen (luhe) のイニシャルと fukui のイニシャルから wl-fu.jimdo.com としました。今後ともよろしく願います。

4. 福井市総合ボランティアセンターに団体登録しました。

当協会の新しい活動については、ボランティアセンターのホームページからも確認して頂けることになりました。 <http://fukui-vc.jp>



訃報のお知らせ

ヴィンゼン独日協会創立の功労者で名誉会長のヘルベルト・ローデ氏が、本年3月31日に逝去されました(90歳)。葬儀にはベッケドルフ会長をはじめ、ヴィンゼン独日協会の方々も参列し、福井県日独友好親善協会名誉会長栗田氏および在ハンブルク日本領事からも花輪が送られました。長年にわたって、日独交流に尽力されてこられたローデ氏に、謹んで深く哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

写真: 2015年3月7日(15周年記念訪独時に撮影)

★お問合せ先★

Verein für Japanisch-Deutsche Freundschaft in Fukui

福井県日独友好親善協会事務局

<http://www.wl-fu.jimdo.com>

tel. 090-7088-3012 (高橋) e-mail wlfu2017@gmail.com



ごあいさつ

福井県日独友好親善協会会長 村田幸子

本年(2017)は、マルティン・ルターによる「宗教改革」500周年に当たります。ルターと言えば、日本でも、社会の教科書にも記載され、よく知られています。彼は、当時、聖職者や身分の高い一部の人間にしか理解できなかったラテン語等で書かれた聖書を、各地独特の言語で話す民衆だれでもがわかる言葉、すなわち現在のドイツ語のひな型となる言葉を用いて翻訳しました。これにより、教義のみならず、この「共通の言語(ドイツ語)」を各地に普及させたという点で、言語学的にも大きな意義があります。このように、「改革」には、思いもよらない様々な果実をもたらすことがあります。

さて、本年、私たちも一つの「改革」に向けての一步を踏み出したいと考えています。それは、当協会の活動を、より長く、また盤石なものとするために、法人化を図るということです。

昨年度の協会活動を振り返りますと、四季を通じて恒例となるような行事を探求し、春にはドイツ人研究生によるドイツ文化紹介講座、夏には金沢でのビール祭り参加、秋には福井国際フェスティバルへのブース出展、そして冬にはドイツのクリスマス文化を知るイベントを行いました。

通年事業として、5月に新体制でスタートした語学講座も、回を重ねるごとに参加者が増えていき、より活気ある楽しいクラスとなっています。

こうした様々な行事に、多くの会員の方々にご参加頂きましたことを、お礼申し上げます。

また、この間、ハールブルク郡・ヴィンゼン市より、ポド・ベッケドルフ独日協会会長の急な訪問を受け、役員一同でお迎えして、相互の変わらぬ友好交流と意見交換を実施しました。

そのほか、石川県の独日協会講演会に出席、ならびにEJ協会主催の国際フォーラムには、当協会が共催団体として参加し、北陸と欧州との結びつきへの新たな可能性を感じています。

さらに、新しく当協会のホームページを開設し、協会設立から今日までの活動実績を、一目で見て頂けるようデータ化するとともに、最新の情報を発信できるような環境を整えて参りました。

こうした地道な活動を踏まえ、本年度、会員の皆様のご理解を得て、当協会を、NPO法人化したいと考えます。また、会則も、今後の活動にそぐう形となるよう改善していきたいと思っております。

この「改革」を踏まえ、今後は、我々の活動に賛同してくださる法人、個人の会員の方々力が合わせて、会としての目標をたて、「共通の希望」をもち、よりパワーアップした魅力的な事業を展開していくことを願っています。

2年後には、ハールブルク郡・ヴィンゼン市との友好協定20周年を迎えます。会員の皆様と一緒に、再びドイツの地に足を踏み入れ、現地の方々とともに、「共通の希望」の輪を広げていきましょう。



計画1 情報交換

[ドイツに関する情報の収集および提供]

情報提供の特別企画として、マルティン・ルターによる「宗教改革」500周年を記念する「ルター・ポスター展」を行います。また、会員相互の親睦を深めるために、親睦会を開催して情報交換を行います。

計画2 ドイツ語にチャレンジ!

[ドイツ国民との交流促進のための研修会、講演会等の開催]

ドイツ国民との相互理解と友好親善を深めるためには、ドイツ語の知識が不可欠です。20周年記念訪独(2019年度)を目指し、各自が独自の交流活動が展開できるよう支援します。語学講座や文化講座を通してドイツについて学びます。

計画3 ドイツ親善交流

[福井県民とドイツ国民との交流事業]

ドイツ人高校生が敦賀高校を訪問し、日本の生活を体験します(11月県事業予定)。これに合わせて来日する、独日協会ベッケドルフ会長ならびにヴィンゼン市民との交流活動を、福井滞在期間中に行います。

計画4 福井国際フェスティバルに参加

[その他日独間の交流促進に寄与する事業]

福井県国際交流会館を会場に開催(10月15日)されます。会場内に当協会活動とドイツ紹介(ハールブルク郡とヴィンゼン市)のブースを設けて会員の募集活動を行います。

